DiMAGE X21

J 使用説明書

目次

撮影メニュー 37

フラッシュモードや画像サイズなど、メニューで様々な設定を変更することができます。必要に応じてお読みください。

動画撮影モード 65

動画の撮影方法ついて詳しく説明しています。動画撮影の前に一通りお読みください。

次ページへ続く

パソコンへの接続 109

このカメラで撮影した画像をお持ちのパソコンに取り込む方法や、カメラを画像入力装置として使用する方法（PCカメラ）について説明しています。

その他 131

一般的な注意事項や、トラブル時の処置等を記載しています。

正しく安全にお使いいただくために

お買い上げありがとうございます。
ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は発火注意）

警告

電池の取り扱いを誤ると、液漏れによる周囲の汚損や、発熱や破裂による火災やケガの原因となりますので、次のことは必ずお守りください。

- **指定された電池以外は使わないでください。**
- **電池の極性（＋／－）を逆に入れないでください。**

- **表面の被膜が破れたり、はがれたりした電池は使用しないでください。**
- **電池のショート、分解、加熱、および火中・水中への投入は避けてください。また金属類と一緒に保管しないでください。**

- **新しい電池と古い電池、メーカーや種類の異なる電池、充電状態の異なる電池を混ぜて使用しないでください。**

- **アルカリ電池は充電しないでください。**
- **充電式電池を充電する場合は、専用の充電器をご使用ください。**

- **万一電池が液漏れし、液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗った後、直ちに医師にご相談ください。液が手や衣服に付着した場合は、水でよく洗い流してください。また、液漏れの起こった製品の使用は中止してください。**

⚠ 警告

ACアダプターをご使用になる場合は、専用品を表示された電源電圧で正しくお使いください。
表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁してください。
他の金属と接触すると発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄するか、リサイクルしてください。

ご自分で分解、修理、改造をしないでください。
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店にご依頼ください。

落下や損傷により内部、特にフラッシュ部が露出した場合は、内部に触れないように電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。
フラッシュ部には高電圧が加わっていますので、感電の原因となります。またその他の部分も使用を続けると、感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

幼児の口に入るような電池や小さな付属品は、幼児の手の届かないところに保管してください。
幼児が飲み込む原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

フラッシュを人の目の近くで発光させないでください。
目の近くでフラッシュを発光させると視力障害を起こす原因となります。

車などの運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。
交通事故の原因となります。

次ページへ続く

警告

自動車などの運転中や歩行中に撮影したり、液晶モニターを見たりしないでください。

転倒や交通事故の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で操作したりしないでください。内部に水が入った場合はすみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。

使用を続けると、火災や感電の原因となります。裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにご相談ください。

引火性の高いガスの充満している中や、ガソリン、ベンジン、シンナーの近くで本製品を使用しないでください。また、お手入れの際にアルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

ACアダプターをご使用の場合、電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。

コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に交換をご依頼ください。

万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、すみやかに電池を抜き（ACアダプターの場合は電源プラグをコンセントから抜き）、使用を中止してください。電池も高温になっていることがありますので、火傷には十分注意してください。

使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

⚠注意

車のトランクやダッシュボードなど、高温や多湿になるところでの使用や保管は避けてください。
外装が変形したり、電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、火傷、ケガの原因となります。

長時間使用される場合は、皮膚を触れたままにしないでください。
本体の温度が高くなり、低温やけどの原因となることがあります。

長時間の使用後は、すぐに電池やカードを取り出さないでください。
電池やカードが熱くなっているため火傷の原因となります。電源を切って温度が下がるまでしばらくお待ちください。

発光部に皮膚や物を密着させた状態で、フラッシュを発光させないでください。
発光時に発光部が熱くなり、火傷の原因となります。

液晶モニターを強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。
液晶モニターが割れるとケガの原因となり、中の液体に触れると炎症の原因となります。中の液体に触れてしまった場合は、水でよく洗い流してください。万一目に入った場合は、洗い流した後医師にご相談ください。

次ページへ続く

注意

ACアダプター使用時は、電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。

電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ACアダプターを布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないでください。

熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時にアダプターが抜けなくなったりします。

お手入れの際や長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

火災や感電の原因となります。

KONICA MINOLTAは、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。DiMAGEはコニカミノルタフォトイメージング株式会社の登録商標です。

WindowsおよびMicrosoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Apple, Macintosh、Mac OS, QuickTimeは、Apple Computer, Inc, の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
Adobe およびPhotoshop Albumは、Adobe Systems Incorporatedの登録商標です。
その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受像機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

はじめに

お買い上げありがとうございます。
ディマージュX21は、軽量・コンパクトなボディに光学3倍ズーム機能を搭載したデジタルカメラです。屈曲光学系の採用により超薄型ボディを達成、メインスイッチを入れるとすぐに撮影ができる快適さに加え、動画の記録も可能です。
ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永くこの製品をご愛用ください。

内容物の確認

お買い上げのパッケージに梱包されているのは以下の通りです。ご確認の上、不備な点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- □ カメラ本体（コニカミノルタDiMAGE X21）
- □ ハンドストラップ HS-DG120 (P.16)
- □ 単3形アルカリ乾電池 2本(P.17)
- □ SDメモリーカード(P.20)
- □ USBケーブル USB-500 (P.112)
- □ DiMAGEビューアー CD-ROM(P.110～)
- ☑ 本使用説明書
- □ DiMAGE Viewer使用説明書（ディマージュビューアー）
- □ アフターサービスのご案内
- □ 保証書
- □ コニカミノルタからのお知らせ

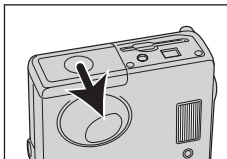
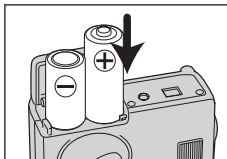
ユーザー登録について

本製品をご使用になる前に、お早めにユーザー登録をお済ませください。同梱されている「コニカミノルタからのお知らせ」に記載の弊社ホームページからオンライン登録を行っていただけます。

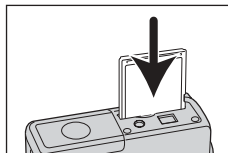
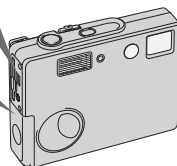
早分かり　詳しくは本文をご覧ください。

準備をする

1 電池を入れます。

→P.17

電池室ふたを矢印の方向にスライドさせます。

電池室内の＋／ー表示にしたがって、電池を入れます。

2 カードを入れます。

→P.20

カチッと音がするまで、カードを押し込みます。

撮影する　P.25

1 メインスイッチを押して電源を入れます。 ON/OFF

2 撮影モード切り替えレバーを合わせます。

撮影

動画撮影

3 十字コントローラーを上下に倒して撮りたいものの大きさを決めます。

望遠

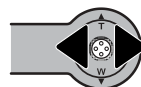
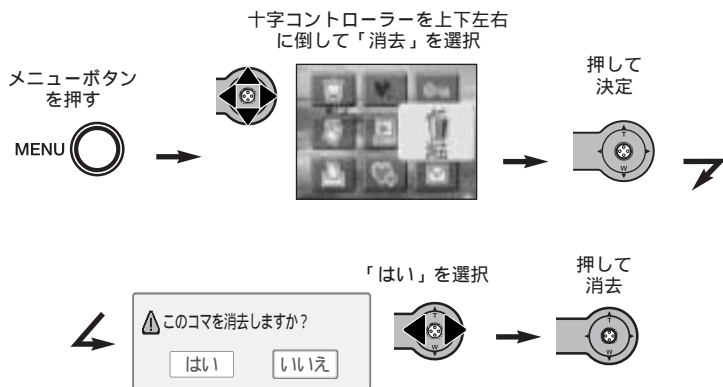
広角

4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。

半押し

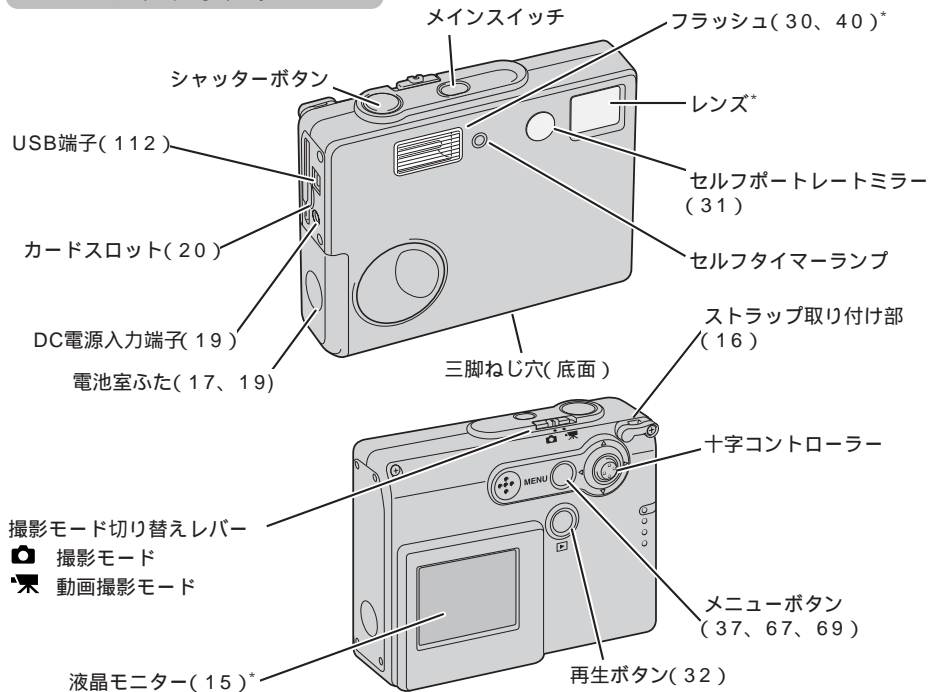
5 シャッターボタンを押し込んで撮影します。

動画撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを押します。

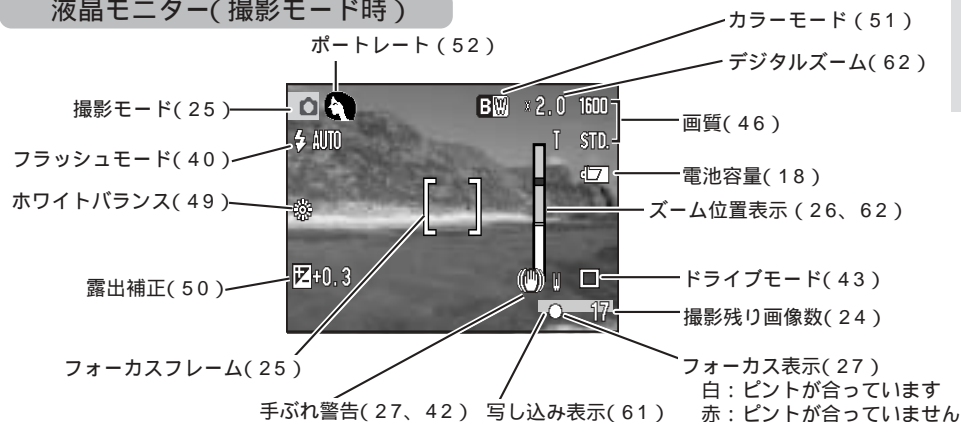
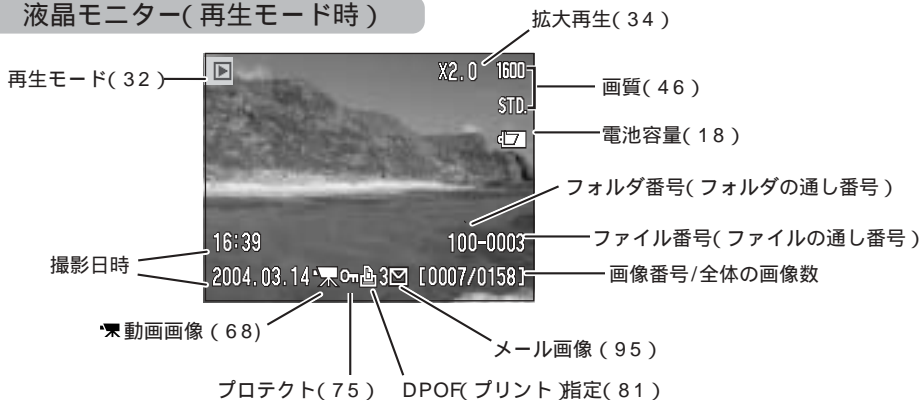
再生する　P.32

まとめて画像を消去するには→P.73

各部の名称

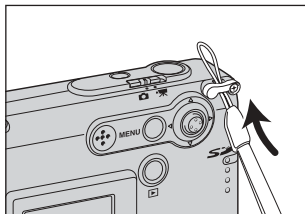
*の付いたところは、直接手で触れないでください。(　)内は参照ページです。

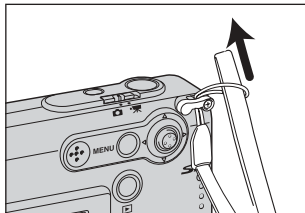
カメラボディ

フラッシュ/アクセスランプ
　ｵﾚﾝｼﾞ色すばやく点滅　：フラッシュ充電中(P.30)。
　赤色すばやく点滅　　　：電池容量がないか(P.18)、カードに記録中または読み出しです。カードを取り出さないでください。

各部の名称（説明のためすべての表示を点灯させています。）

液晶モニター（撮影モード時）

液晶モニター（再生モード時）

基本撮影

この章では、カメラの準備および最も基本的な撮影方法・再生方法を説明しています。

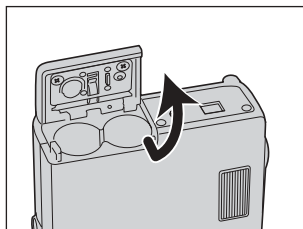
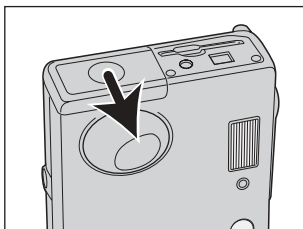
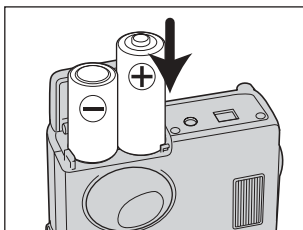
ストラップの取り付け方

1. ストラップ取り付け部に、ストラップの短い方を通します。

- 先端を細くして通してください。
- 取り付け部に対して垂直に押し込むようにすると通りやすくなります。通らない場合は、先の細い物で先端を引っ張り出してください。

2. 通したストラップの輪に、もう一方の端を通して引っ張ります。

電池を入れる

電池を入れる

単3形アルカリ乾電池2本、または単3形ニッケル水素（Ni-MH）電池2本を使用します。このカメラには、単3形アルカリ乾電池が同梱されています。より長い時間の撮影には、単3形ニッケル水素（Ni-MH）電池の使用をおすすめします。ニッケル水素電池は必ず指定の充電器でフル充電してからお使いください。電池の性能は銘柄によって差があります。

● これら以外の電池は使用できません。

1. 電池室ふたを矢印の方向にスライドさせて開けます。

2. 電池室内の＋／−表示にしたがって電池を入れます。

3. 電池室ふたを閉じ、カメラ背面の方向にカチッと音がするまでスライドさせて元通りに閉めます。

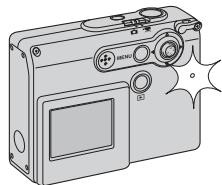
● 最後まで確実に閉めてください。

日付/時刻を設定してください

はい　いいえ

● 電池を入れ、はじめてカメラの電源を入ると、液晶モニターに、「日付け/時刻を設定してください。」というメッセージが現れますので、日時を設定してください（→P.22）。また、電池を長時間取り出したままにしていると、日時の設定が失われることがあります。その場合も日時を再設定してください。

電池容量の確認

メインスイッチを押して電源を入れたり、撮影・動画撮影・再生モードを切り替えたりすると、電池の容量が液晶モニターに表示されます。

 電池容量は十分です。（4秒間のみ表示）

 電池容量が少なくなりました。（4秒間のみ表示）電池の充電・交換をおすすめします。

 （赤色になった場合）できるだけ早く電池の充電・交換をしてください。
この状態でも動画以外の撮影はできます。これより電池容量が少なくなると節電のためフラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュ／アクセスランプが3秒間すばやく点滅（左図）、または「電池がなくなりました」というメッセージが現れると、シャッターは切れません。

- 新しい電池を入れても何も表示されないときは、電池の向き（＋／－）を確認してください。
- 長時間の撮影、再生、パソコンとの接続時には、別売りのACアダプター AC-12の使用をおすすめします。

オートパワーオフ（操作しないでいると自動的に電源が切れます）

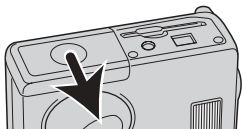
一定時間何も操作をしないでいると、節電のため自動的にカメラの電源が切れます（オートパワーオフ）。撮影を再開する場合は、もう一度メインスイッチを押して電源を入れてください。

- オートパワーオフまでの時間（初期設定は3分）を変更することもできます。→ P.106

電池を取り出す

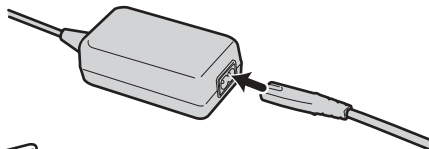
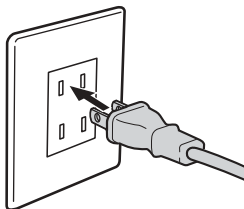
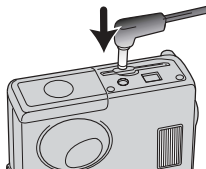
電池を取り出すときには、電源が入っていない（＝カメラがOFFになっている）のを確認してから取り出してください。

電池室ふたを開け、電池を取り出します。

● ふたの開け方は → P.17

ACアダプター（別売り）

屋内などAC電源が使える場合は、別売りのACアダプター AC-12を使用すると、電池の残りを気にすることなく撮影ができて便利です。

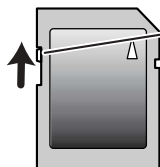
接続のしかた

1. ACアダプター本体に電源コードを図のように差し込みます。

2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

3. カメラの電源が入っていないのを確認してから、DC電源入力端子にACアダプターの出力プラグを差し込みます。

取り外し方

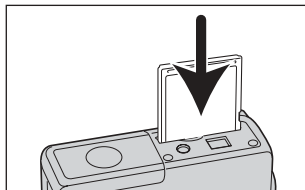
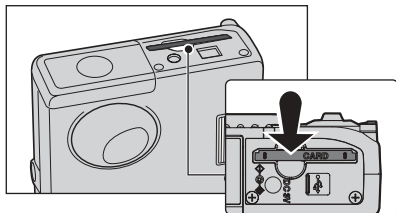
1. カメラのメインスイッチを押して電源を切った後、出力プラグをカメラのDC電源入力端子から取り外します。
2. ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜きます。

カードを入れる/取り出す

入れ方

画像を記録するには、SDメモリーカードまたはマルチメディアカード（以下、カード）が必要です。付属のSDメモリーカードは、そのままこのカメラに入れてお使いになれます。

ライトプロテクトスイッチ

● SDメモリーカードには、ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。このスイッチを下にスライドさせると、カードへのデータ書き込みが禁止され、カード内の画像等を保護することができます。書き込みする際には、スイッチを上に上げてください。

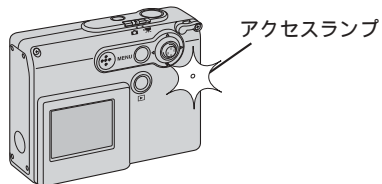
カードを入れるときには、電源が入っていない（＝カメラがOFFになっている）のを確認してから入れてください。

1. カードのラベルをカメラの前面側、接点を背面側に向け、ラベル上の▼マークを挿入口に向けて差し込みます。

2. カチッと音がするまで、矢印の部分を押し込みます。

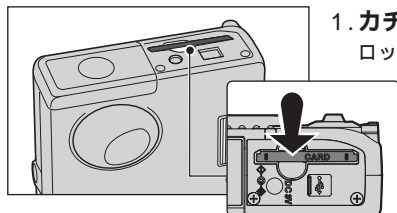
● まっすぐに押し込みます。端を押し込まないでください。
● カードが奥まで入らない場合は、無理に押し込まずに、カードの向きを確かめて正しく入れ直してください。
● 奥まで入ると、カードはロックされます。

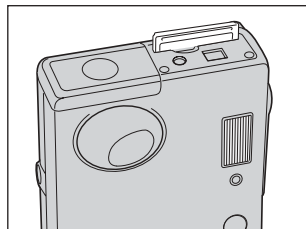
注意

撮影中にカードを不用意に押し込み、意図せずに取り出さないように注意してください。

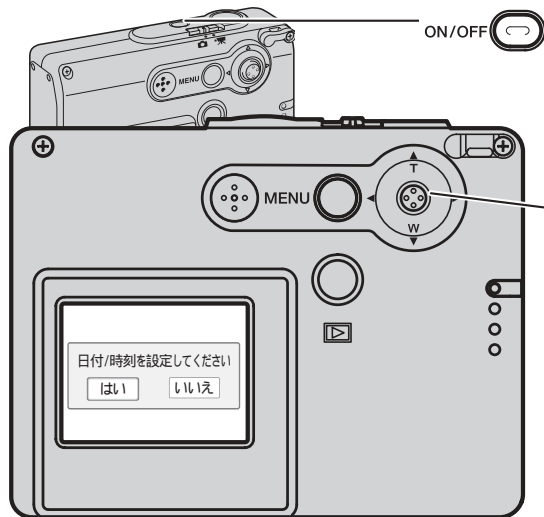
- カードが入ってないときは、「カードが入っていません」というメッセージが現れます。また、撮影モードでは撮影残り画像数が、動画撮影モードでは時間表示が、赤色の ーーー ー になります。
- マルチメディアカードを使用した場合、SDメモリーカードと比べて撮影・再生時の動作応答時間がかなり長くなります。

取り出し方

注意

赤色のアクセスランプが点滅している間は、カードを取り出さないでください。カード内のデータが破損する原因となります。

1.カチッと音がするまで矢印の部分を中に押し込みます。

- ロックが外れ、カードが出てきます。

2.カードを取り出します。

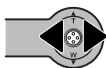
日時を設定する

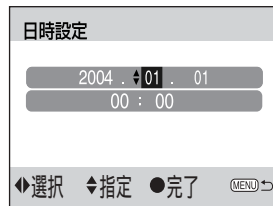
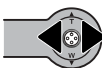
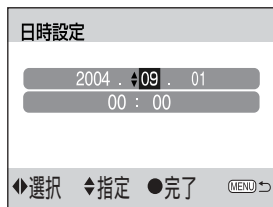
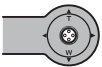
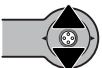
カメラをご購入後初めて使用されるときや、電池を長時間取り出したままにしたときなど、日時の設定が失われることがあります。、「日付/時刻を設定してください」というメッセージが現れたら、日時の設定を行なってください。 ※日時の変更をするには→P.107.

ON/OFF

1. メインスイッチを押して電源を入れます。

2.「はい」を選択している状態で十字コントローラー（以下コントローラー）を押します。

● 日時修正画面になります。

日時設定
2004 . 01 . 01
00 : 00
◆選択 ◆指定 ●完了 MENU

3. コントローラーを左右に倒して修正したい項目を選びます。

- コントローラーを倒したまま保持すると、数値が早送りされます。

4. コントローラーを上下に倒して希望の数値を選びます。

5. 必要なだけ3、4の操作を繰り返します。

6. 修正が終了したら、コントローラーを押します。

- 日付設定が完了し、時計がスタートします。
- 途中でメニューボタンを押すと、日時設定が行なわずに元の画面に戻ります。

撮影の準備

撮影残り画像数

カードを入れて、カメラの電源を入れると、液晶モニター右下に撮影残り画像数（現在の設定で撮影を続けると、後何枚撮影できるか）が表示されます。

1枚のカードに記録できる画像数は、カードの容量、カメラで設定された画質によって異なります。付属のカード（8MB）で初期設定（画質1600×1200スタンダード）で撮影する場合、記録できる画像数は約11枚です。

- 異なる容量のカードを使用した場合や、画質を変更した場合、また動画撮影を行なった場合は、撮影できる画像数は大きく変わります。※詳細は → P.48

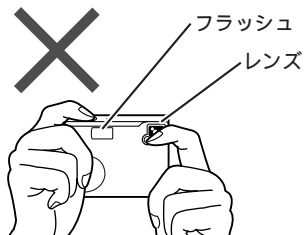
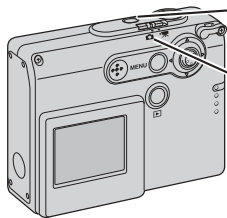
- 「0000」が赤字で表示され、「カードに空きがありません」というメッセージが出たときは、カードがいっぱいです。画質を変更する、カード内の画像を消去する、カードを交換する、のいずれかを行なってください。
  画質の変更 → P.46
  画像の消去 → P.33、73

- ファイルサイズは被写体によって異なるため、撮影シーンによっては、撮影後に撮影残り画像数表示が変化しない場合もあります。

カメラの構え方

手ぶれが起こらないよう、脇を締め、両手でしっかりとカメラを構えて撮影してください。

- レンズやフラッシュなど、カメラの前面に指や髪、ストラップがかからないようにしてください。
- 縦位置で撮影するときは、フラッシュをレンズより上にしてください。

レンズやフラッシュに指をかけないように！
失敗の原因となるので注意してください。

撮影する

1. メインスイッチを押して電源を入れます。

- 電池の状態によっては、起動時間が若干長くなる場合があります。

2. 撮影モード切り替えレバーを📷に合わせます。

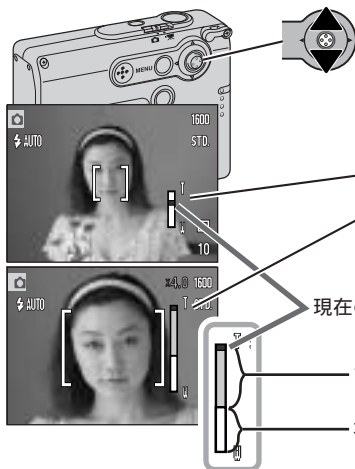
- 撮影モードになります。

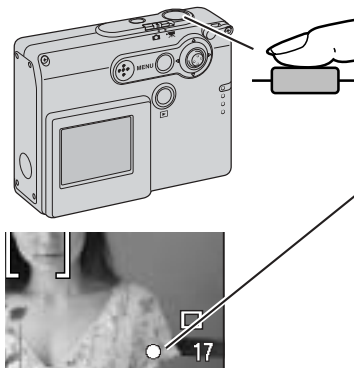
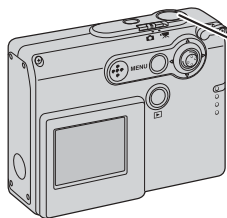
次ページへ続く

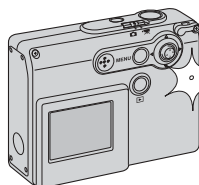
3.液晶モニターで構図を決め、コントローラーを上下に倒し、ズームして大きさを決めます。

- 上に倒すと望遠に、下に倒すと広角になります。
- 液晶モニター内の［　］中のものにピントが合います。

※ピントが合わないときは →P.28

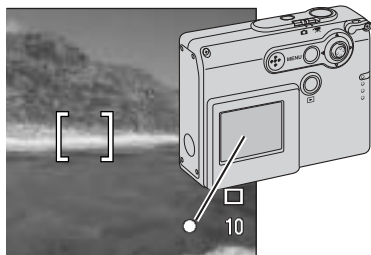
- 撮りたいものから10cm以上離れてください。
- ズーム操作を行うと、画面右側にズーム表示が現れます。
- デジタルズームを「あり」に設定している時(P.62)のズーム表示は、光学ズーム領域に加えデジタルズーム領域も表示されます。

4.シャッターボタンを半押しします。

- シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。そこまで押すことを「半押し」と呼びます。
- シャッターボタンを半押しするとピントが合います。ピントが合うと、液晶モニター右下には白い○が点灯します。
- AF音を設定しているときは、ピントが合うと音でお知らせします。
- 液晶モニターが消灯する場合は、フラッシュが充電中です。シャッターボタンを半押しし続けると再度点灯します。

※半押ししたときのその他の表示については →次ページ

5. シャッターボタンをゆっくり押し込んで撮影します。

- 撮影後シャッターボタンを押し込んだままにしていると、撮影した画像が液晶モニターに表示され確認することができます。連続撮影やセルフタイマー撮影の場合は、この機能は使用できません。

- 撮影された画像は自動的にカードに記録（書き込み）されます。書き込み中は赤色のアクセスランプが点滅します。**その間はカードを取り出さないでください。**

- シャッターボタンを半押しした時に現れる表示の意味は以下の通りです。

液晶モニター右下の表示	状況
白色の○点灯	ピントが合っています。撮影できます。
赤色の●点灯	ピントが合わない、または撮りたいものに近づき過ぎています（→ P.28）。
（手ぶれマーク）	シャッター速度が遅くなっています。手ぶれに注意するか、三脚を使って撮影してください。

- 撮影終了後は、メインスイッチを押して電源を切ってください。 ON/OFF

ピント合わせ

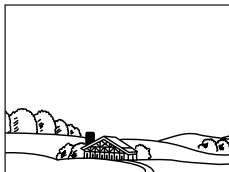
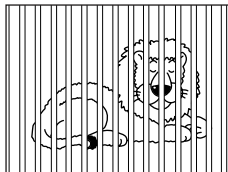
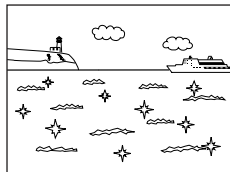
シャッターボタンを半押しすると、自動的にピント合わせが行われ、[　]の中のものにピントが合います。ピントが合うと、液晶モニターの白色のフォーカス表示○が点灯します。

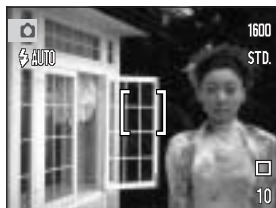
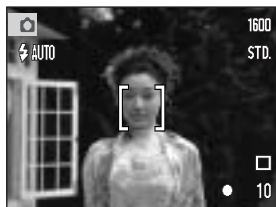
赤い●が点灯したときは、ピントが合っていません。以下を確認してください。

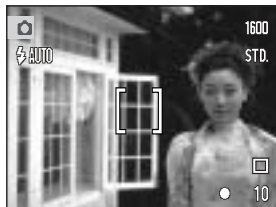
・撮りたいものから10cm以上離れていますか？
・オートフォーカスの苦手な被写体（以下参照）を撮影しようとしていませんか？

オートフォーカスの苦手な被写体

オートフォーカスのピント合わせは被写体のコントラスト(明暗差)を利用しています。したがって、次のような被写体ではオートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。このような場合は、次ページのフォーカスロック撮影で、被写体と同じ距離にあるものにピントを固定して撮影してください。

暗すぎるもの

青空や白壁など
コントラストのないもの

[　]の中に
距離の異なるものが
混じっているとき

太陽のように
明るいものや、
車のボディ、水面など
きらきら輝いているもの

ピントを合わせたいものが画面中央にないとき

ピントを合わせたいものが画面中央にないときに、そのまま撮影すると、中心部の背景にピントが合って人物がぼけてしまいます。このようなときは、次のようにしてピントを固定（フォーカスロック）して撮影してください。

1.ピントを合わせたいものに[　]を合わせ、シャッターボタンを半押しします。

● ピントが合っていること（液晶モニター右下の白い○点灯）を確認します。

2.シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に戻します。

3.シャッターボタンを押し込んで撮影します。

フラッシュ撮影

フラッシュが自動発光 ⚡AUTO の場合、必要時には自動的に発光します。

※フラッシュモードを変更するには →P.40

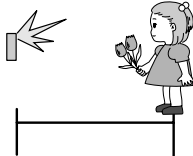
● シャッターボタンを半押ししていると、フラッシュの状態をフラッシュモードの表示でお知らせします。

フラッシュモードの表示	状況
赤色の ⚡AUTO 点灯	フラッシュ充電中です。 シャッターは切れません。
白色の ⚡AUTO 点灯	フラッシュの充電が完了しました。 撮影することができます。

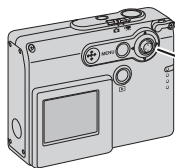
※表はフラッシュモードが自動発光の場合です。

● 画面表示が「表示なし」の場合は、フラッシュ充電中のみフラッシュモードの表示が赤く点灯します。
● 20cmより近くでフラッシュ撮影する場合は、フラッシュを発光禁止にしての撮影をおすすめします。
● 電池容量が少ないと、フラッシュ充電中は液晶モニターが消灯します。カードスロット横のフラッシュ／アクセスランプがオレンジ色に点滅して、充電中をお知らせします。

フラッシュ光の届く距離

フラッシュの光が届く範囲には限度があります。最広角側では3.6m、最望遠側では2.7mを目安に撮影してください。

広角側：0.20～3.6m
望遠側：0.20～2.7m

夜景など暗い場合は、フラッシュが発光しても遠くの景色は写りません。

画面表示の切り替え（撮影・動画撮影モード）

約2秒間押す

撮影モード 、動画撮影モード でコントローラーを約2秒間押すと、以下の通り表示を切り替えることができます。

表示あり　表示なし

● この使用説明書では、「表示あり」の状態で説明しています。

※各表示については → P.15

●「表示なし」のときも、電池容量（P.18）と写し込み表示（P.61）は表示されます。また、シャッターボタン半押し中はフォーカス表示とフラッシュ充電中の表示がされます。

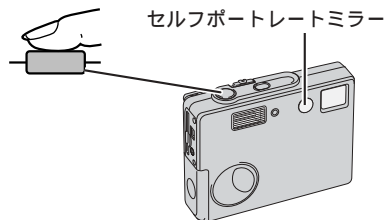
● オートリセット（P.60）を「あり」にしている場合は、電源を入れ直すと「表示あり」の状態になります。

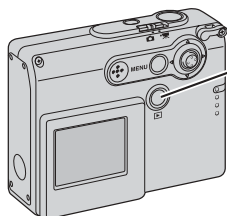
「表示なし」の設定を保持したいときは→ P.60

カメラ正面のミラーを使って自分撮りをする

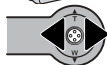
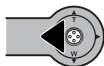
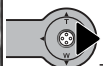
カメラ正面にあるミラーを見ながら、自分自身を撮影したり、ツーショットの撮影を行なうことができます。

1. カメラ前面のミラーで構図を確認し、シャッターボタンを半押しします。

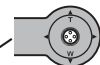
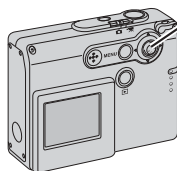
● 腕を伸ばして撮影してください。
● AF音を設定している場合は、ピントが合うとAF音が鳴ります。
● コントローラーを上下に倒してズームを変更することができます。ミラーは、広角時に使用するのに適しています。
● ズーム位置や、被写体からカメラまでの距離によっては、実際に撮影される範囲とセルフポートレートミラーに写っている範囲とが異なります。

2. シャッターボタンを押し込んで撮影します。

撮影した画像を見る（再生する）

1.再生ボタンを押します。

● 撮影された最新の画像が表示されます。
液晶モニターに再生モードが表示されます。

● もう一度再生ボタンを押したり、撮影モード切り替えレバーを操作すると、撮影モード（または動画撮影モード）に戻ります。

2.コントローラーを左右に倒して見たい画像を選びます。

左へ倒す　右へ倒す

古い画像　新しい画像

● 画像が記録されていない場合は、「画像がありません」と表示されます。
● 押し続けると高速で画像が切り替わります。
● 動画の場合は開始時の画像が表示されます。→P.68

画面表示の切り替え（再生モード）

再生モードでコントローラーを約2秒間押すと、以下の通り表示を切り替えることができます。

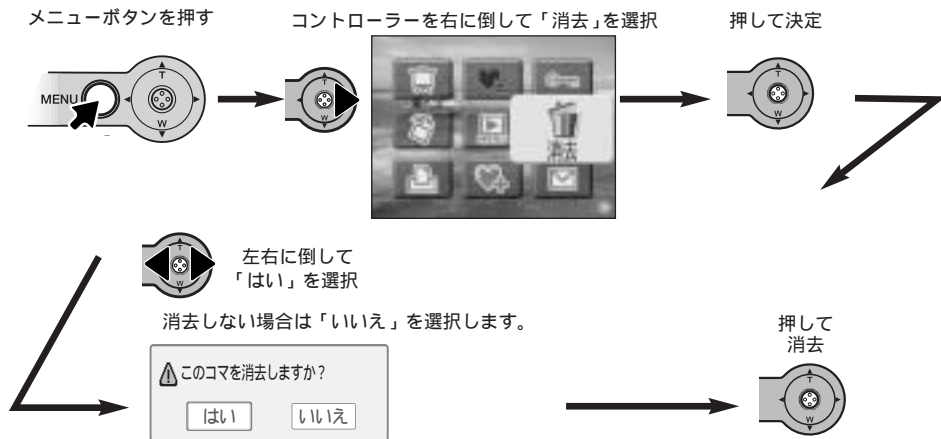
● この使用説明書では、表示ありの状態で説明しています。※各表示については → P.15

画像を手早く消去する

画像を1コマずつ簡単に消去することができます。

いったん消去した画像を復活させることはできません。

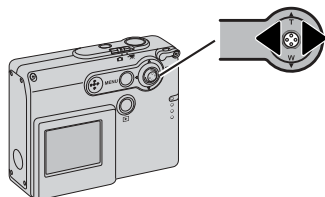
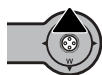
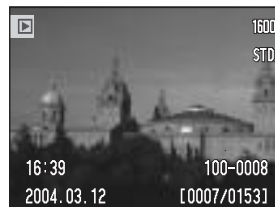
1.消去したいコマを再生させます。

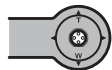
2.クイックパネルで「消去」を実行します。

●画像がプロテクト（→ P.75）されていて消去できない場合は、消去のアイコンを選択できません。

●消去後は次の画像が表示（再生）されます。他に消去したい画像があるときは、上の操作を繰り返します。

※複数の画像をまとめて消去するときは → P.73

再生画像を拡大する

再生画像を、最大6倍にまで拡大することができます。
●動画の拡大再生はできません。

1.コントローラーを左右に倒して見たい画像を選びます。

2.コントローラーを上に倒します。

●ズーム画面が現れ、コントローラーを上に倒すたびに画像が 最大6倍まで拡大されます。下に倒すと縮小されます。
● 現在の拡大倍率が画面右上に表示されます。
その右に、元画像のどの部分を拡大表示しているかを示すインジケータ(白は元画像全体、黄色は拡大再生されている部分)が現れます。
● メニューボタンを押すと拡大前の画像に戻ります。

拡大再生中にコントローラーを押すと、「ズーム画面」と「移動画面」を切り替えることができます。

ズーム画面

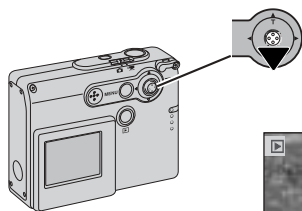
コントローラーを押すと移動画面になる

移動に合わせて白いインジケータ内の黄色いインジケータも移動します。

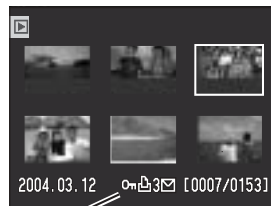
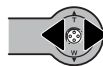
コントローラーを押すとズーム画面になる

「移動」画面選択中は、コントローラーを上下左右に倒して、見たい部分を移動させることができます。

インデックス再生

撮影した画像を6画像ずつまとめて表示することができます。画像を探すときなどに便利です。

コントローラーを下に倒してインデックス再生します。

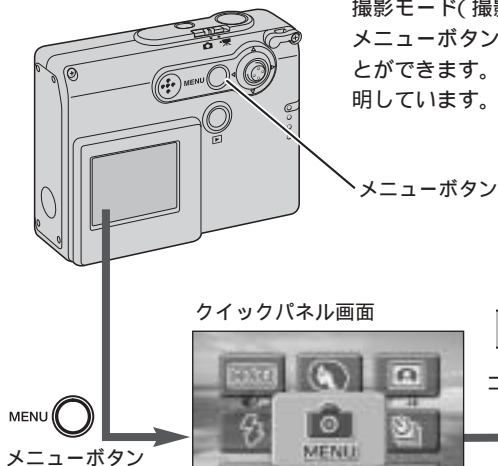
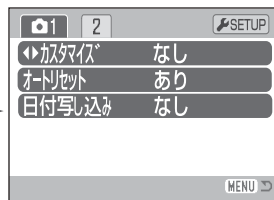
●上に倒すと1コマ再生に戻ります。

1コマ再生

インデックス再生

左右に倒して、見たい画像を選択します。

● キーを押し続けると、画像の選択が早送りされます。

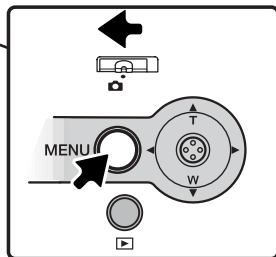
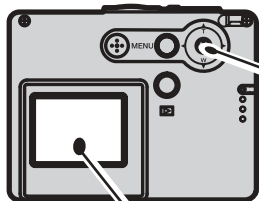
選択中の画像の内容や設定が表示されます。

撮影メニュー

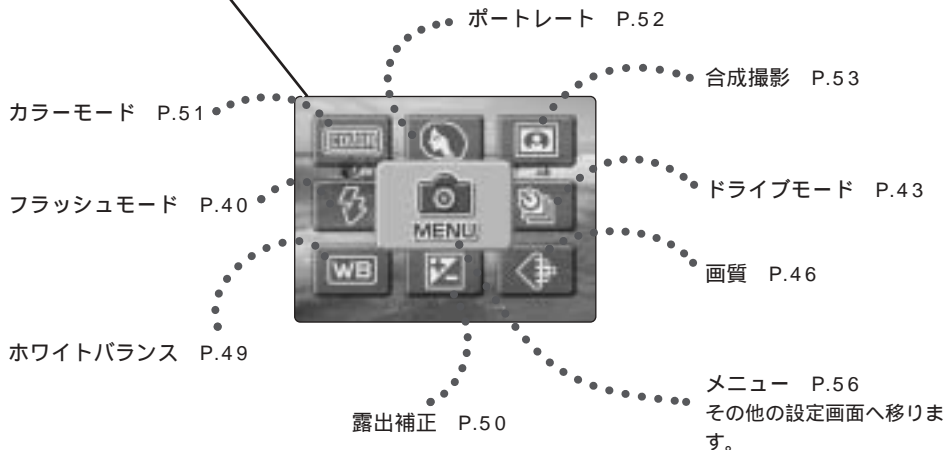
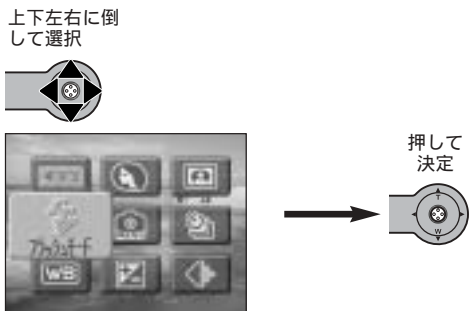
撮影モード（撮影モード切り替えレバーが📷位置）のときにメニューボタンを押すと、カメラの様々な設定を変更することができます。この章では撮影モードのメニューについて説明しています。

基本的な設定を変更します。（P.38）

その他の設定を変更します。（P.56）

クイックパネル（撮影メニュー）

撮影モード（撮影モード切り替えレバーが📷位置）のときにメニューボタンを押すと、撮影メニューのクイックパネルが表示され、9つのアイコンから基本的な設定をしたり、アイコンにない機能の設定画面（撮影メニュー）を呼び出したりすることができます。

1.カメラが撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

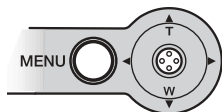
液晶モニターにクイックパネル（9つのアイコン）が表示されます。

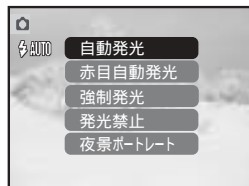
- クイックパネルが表示されている時にメニューボタンを押すと通常の撮影画面に戻ります。

2.コントローラーを上下左右に倒して、設定したい機能のアイコンを選択、押して決定します。

- 選択できるアイコン上にカーソルがくると、各々の機能の説明が表示されます。マークが表示されるアイコンは、設定を変更することができません。
- コントローラーを押してアイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

フラッシュモード

フラッシュモードを以下のように変更することができます。

AUTO	自動発光	必要時にはフラッシュが自動的に発光します。(P.41)
AUTO	赤目軽減自動発光	フラッシュで人物の目が赤く写るのをやわらげます。(P.41)
	強制発光	フラッシュは必ず発光します。(P.41)
	発光禁止	フラッシュは発光しません。(P.42)
	夜景ポートレート	夜景を背景に人物を撮影するときに使います。(P.42)

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望のフラッシュモードを選択し、押して決定します。

- 液晶モニターのフラッシュモード表示（AUTO や 等）が赤く点灯、またはフラッシュ／アクセスランプがオレンジ色に点滅したら、フラッシュが充電中です。充電が完了すれば撮影することができます。
- フラッシュモードを自動発光または赤目軽減自動発光 に設定し、撮影していた場合は、オートリセット(P.60)「あり」で電源を入れ直した後も、モードはそのまま保持されます。その他のフラッシュモードは、自動発光または赤目軽減自動発光（前回設定していた方）に戻ります。

フラッシュモードの設定を保持したいときは → P.60

フラッシュ自動発光

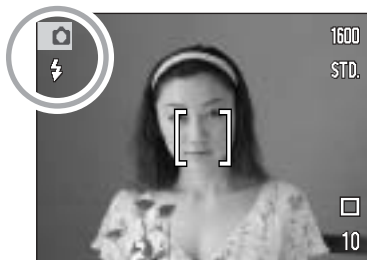
暗い場所や逆光など必要時には自動的にフラッシュが発光します。

フラッシュ赤目軽減自動発光

暗いところで人物を撮影すると、フラッシュの光が目の中で反射して、目が赤く写ることがあります。このモードでは撮影の直前に小光量のフラッシュが発光し、目が赤く写るのをやわらげることができます。フラッシュは必要時には自動的に発光します。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「赤目軽減発光」を選択し、コントローラーを押します。

- シャッターボタンを押すと、数回小光量のフラッシュが発光し、その後本発光とともに撮影されます。
- シャッターボタンを押してから撮影までの間、カメラを動かしたり写される人が動いたりしないよう注意してください。

フラッシュ強制発光

フラッシュは必ず発光します。屋外の人物撮影で顔の影をやわらげたい時などにお使いください。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「強制発光」を選択し、コントローラーを押します。

次ページへ続く

フラッシュ発光禁止

フラッシュは発光しません。美術館などフラッシュの使用が禁止されている場所や、風景・夜景などフラッシュ光が届かない被写体を撮影するときにお使いください。

P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「発光禁止」を選択し、コントローラーを押します。

● 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚などにカメラを固定して撮影されることをおすすめします（液晶モニター右下に 𝄃 が現れてお知らせします）。

夜景ポートレート

夜景を背景に記念撮影する場合、通常のフラッシュ撮影では手前の人物はきれいに写し出されますが、フラッシュ光の届かない背景は黒くつぶれてしまいます。そのような場合にこのモードを使うと、人物も背景もきれいに撮ることができます。目が赤く写るのをやわらげるため、撮影の直前に小光量のフラッシュが発光します。

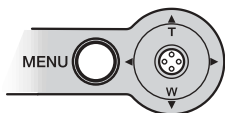
P.40の要領で、クイックパネル→「フラッシュモード」から「夜景ポートレート」を選択し、コントローラーを押します。

● 暗いところでは手ぶれしやすいので、三脚などにカメラを固定して撮影されることをおすすめします（液晶モニター右下に 𝄃 が現れてお知らせします）。

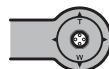
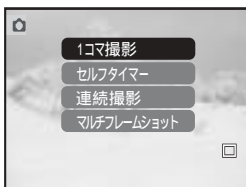
ドライブモード

ドライブモードの設定を変更すると、以下のような撮影を行なうことができます。

- 1コマ撮影:　シャッターボタンを押すごとに、1枚ずつ撮影されます。
- セルフタイマー:　シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。(P.44)
- 連続撮影:　シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。(P.44)
- マルチフレームショット: 9回の連続撮影を、画面を9分割して1つの画像に撮影します。(P.45)

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望のドライブモードを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

押して決定

変更した設定が表示されます。

- ● オートリセット(P.60)が「あり」に設定されている場合は、電源を入れ直すと、ドライブモードの設定は1コマ撮影になります。　その他の設定を保持したいときは → P.60
- ● コントローラーカスタマイズでドライブモードを設定すると、コントローラーを左右に倒すだけでドライブモード(の設定)を切り替えることができます。詳しくは → P.58

次ページへ続く

セルフタイマー

シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。撮影者も一緒に写真に入るときに便利です。

P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「セルフタイマー」を選択し、コントローラーを押します。

- セルフタイマー設定時は液晶モニター右下に が表示されます。

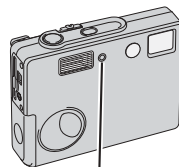
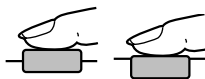
2.シャッターボタンを半押しし、被写体にピントが合っていることを確認します。

3.シャッターボタンを押し込みます。

セルフタイマーランプ

- セルフタイマーの作動中は、カメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。撮影直前にはランプが素早い点滅、そして点灯となり、撮影のタイミングをお知らせします。
- セルフタイマー作動中はランプと同様に音でもお知らせします。音を消すこともできます (→ P.106)。

- 作動中のセルフタイマーを止めるには、メニューボタンを押すか、コントローラーを上か下に倒してください。

- 撮影後、セルフタイマーは解除されます。

連続撮影

シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影されます。最高毎秒約1.2コマの連続撮影ができます (画質1600×1200ファイン、日付写し込み「なし」設定、フラッシュ非発光時)。

1.P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「連続撮影」を選択し、コントローラーを押します。

- 連続撮影設定時は液晶モニター右下に が表示されます。

2.シャッターボタンを押し続けて撮影します。

- フラッシュが発光するときは、フラッシュの充電が完了してから撮影されます。
- 日付写し込みを「あり」に設定している場合は、連続撮影の速度は遅くなります。
- 連続撮影できる枚数には、カメラの内部メモリ容量による上限があります（以下参照）。これらの値は、被写体によっても異なりますので、あくまで目安とお考えください。

1600x1200　ファイン：約5枚	1600x1200　スタンダード：約7枚
1280x960　スタンダード：約12枚	640x480　スタンダード：約22枚

ドライブモード

田 マルチフレームショット

9回の連続したコマを画面を9分割した1枚の画像に撮影することができます。人の表情の変化などを撮影して楽しむことができます。

1. P.43の要領で、クイックパネル→「ドライブモード」から「マルチフレームショット」を選択し、コントローラーを押します。

- 液晶モニター右下に田が表示されます。

2.シャッターボタンを押して撮影します。

- フラッシュは自動的に発光禁止になります。
- 毎秒3コマで、9コマの撮影がされます。
- マルチフレームショットでは、シャッター音（ブザー音)を「あり」にしていても（P.106）、音は鳴りません。
- 手ぶれの少ない、適正な露出のマルチフレームショットを撮影するには、明るいところでの撮影をおすすめします。
- デジタルズームは使用できません。

画質モード

画質モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）を指定することができます。以下の4つのモードから選ぶことができます。

画質モード	画像サイズ	圧縮率	説明	表示
1600x1200 FINE (ファイン)	1600x1200 (UXGA)	小	パソコンに取り込んで加工するときや、プリント（印刷）する*場合におすすめします。約190万画素の画像が撮影できます。 *L版（127㎜×89㎜）～A5（210㎜×148㎜）程度	1600 FINE
1600x1200 STD. (スタンダード)	1600x1200 (UXGA)	中	プリントする*場合におすすめします。約190万画素の画像が撮影できます。 *L版（127㎜×89㎜）～A5（210㎜×148㎜）程度	1600 STD.
1280x960 STD. (スタンダード)	1280x960 (SXGA)	中	枚数を多く撮るときに便利です。約120万画素の画像が撮影されます。	1280 STD.
640x480 STD. (スタンダード)	640x480 (VGA)	中	1枚のカードに最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さいので、Eメールに添付するときやホームページ用の画像として最適です。	640 STD.

ここでいうプリントとは、印刷解像度150dpi～300dpi の場合を指しています。

画像サイズについて

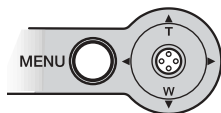
デジタル画像は縦横に細かく分割されて表現されています。例えば画像サイズ1600×1200画素の場合、画像は横に1600、縦に1200に分割され、その1点1点（画素）にそれぞれ色が付き、全体として1つの写真になっています。画像サイズとは、このように並んでいる画素の数（記録画素数）を表し、画素 または ピクセル、ドットといった単位で表されます。

画像をプリント（印刷）する場合は、大きなサイズで撮影しておくほどきれいにプリントできますが、1枚当たりのファイルサイズ（データ量）が大きくなりますので、カードに記録できる（撮影できる）枚数は少なくなります。ご使用のカード容量や用途に合わせてお選びください。

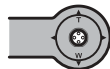
圧縮率について

画像を圧縮しないとファイルサイズ（P.48）が大きくなるため、デジタルカメラでは画像を圧縮して記録する方法が一般的です。1600x1200 FINE（ファイン）は圧縮率が小さく、他のSTD.（スタンダード）画像は圧縮率がファインよりも大きくなります。スタンダードよりもファインの方が高画質ですが、高画質になるほど1枚当たりのファイルサイズが大きくなりますので、カードに記録できる（撮影できる）枚数は少なくなります。また、JPEG形式の画像は保存すると圧縮率が大きいほど画質は劣化します。いったん劣化した画像を撮影後にパソコン等で復元することはできません。特に後で画像の加工や編集を行う場合、保存の作業の度に画質は劣化しますので、撮影は1600x1200 FINE（ファイン）の設定で行なうことをおすすめします。

このカメラでは、画像がJPEG（ジェイペグ）形式で圧縮されて記録されます。圧縮率が大きくなるほどファイルサイズは小さくなり、1枚のカードに記録できる枚数が増えます。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「画質」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望の画質モードを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

ファイルサイズと撮影画像数について

画質モード（画像サイズと圧縮率の組み合わせ）によってファイルサイズが決まり、ファイルサイズと使用しているカードの容量によって1枚のカードに記録できる撮影画像数が決まります。ファイルサイズの目安と付属のSDメモリーカード使用時の撮影画像数は以下の通りです。

● 下記の値は被写体やカードによって異なるため、あくまで目安とお考えください。

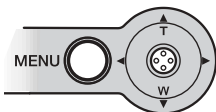
画質モード	ファイルサイズ	撮影画像数
1600 x 1200 FINE (ファイン)	約1.0MB	約5コマ
1600 x 1200 STD. (スタンダード)	約540KB	約11コマ
1280 x 960 STD. (スタンダード)	約380KB	約16コマ
640 x 480 STD. (スタンダード)	約150KB	約42コマ
動画	約300KB/秒 (320×240) 約75KB/秒 (160×120)	約21秒(320×240) 約1分26秒(160×120)

8MB SDメモリーカード使用時

ホワイトバランス

光源によって被写体の色は変化します。特に白いものは、光源によって青っぽくなったり黄色っぽくなったりします。白いものが白くなるように調整するのがホワイトバランスです。AUTO（オート）にすると自動的に調整されますが、意図的に選択することもできます。

AUTO 自動的に調整されます。　☼ 昼光（晴れた明るい屋外）　☁ 曇天（曇った屋外）
白熱灯（タングステン光）　蛍光灯

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「ホワイトバランス」を選択し、コントローラーを押します。

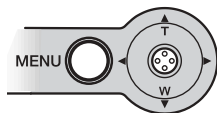
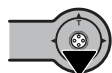
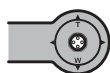
2. コントローラーで希望のホワイトバランスを選択し、押して決定します。

- 複数の光源がある場合や、水銀灯など特殊な光源下では、正確なホワイトバランスが得られないことがあります。フラッシュの使用をおすすめします。
- オートリセット（P.60）を「あり」に設定している場合は、電源を入れ直すと、ホワイトバランスの設定はAUTOになります。

その他の設定を保持したいときは→P.60

露出補正

画像全体を明るくしたり暗くしたりします。±2.0段の範囲内で1/3段刻みで補正することができます。
＋側にすると画面全体が明るくなります。白い被写体を白く表現するときや、黒い被写体をつぶさずに描写するときなどに使います。
－側にすると画面全体が暗くなります。黒い被写体を黒く表現するときなどに使います。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「露出補正」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーで希望の露出補正値を選択し、押して決定します。

● 露出補正を解除するときは、上記の要領で±0.0を選んでください。
● オートリセット（P.60）を「あり」に設定しているときは、電源を入れ直すと、露出補正値は0になります。

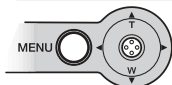
露出補正値を保持したいときは→P.60

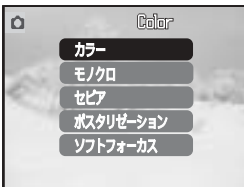
カラーモード

モノクロ（白黒）やセピアに色調を変えたり、ポスタリゼーションやソフトフォーカスのような画像効果が楽しめます。

Color　カラー：通常の撮影で、フルカラーの画像になります。
BW　モノクロ：白黒画像が撮影されます。
SEPIA　セピア：やや色あせた(セピア調)全体に黒茶色の画像が撮影されます。
Postar　ポスタリゼーション：階調の少ない、アーティスティックなハイコントラストの画像になります。
Soft　ソフトフォーカス：ソフトフィルターで撮影したようにハイライト部分が柔らかに表現されます。

● ソフトフォーカスモードに動画や、合成撮影、連続撮影、マルチフレームショットを組み合わせて撮影することはできません。ソフトフォーカスモードに入る前に連続撮影やマルチフレームショットドライブモードが設定されていた場合、ドライブモードは一時的に1コマ撮影となります。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「カラーモード」を選択し、コントローラーを押します。

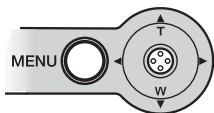
2. コントローラーで希望のカラーモードを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

● ソフトフォーカス以外は、画像の色の変化をカメラの液晶モニターで確認しながら、設定を変更できます。
● モノクロやセピアを選んでも、画像ファイルサイズはカラーとほぼ同じです。
●オートリセット（P.60）を「あり」に設定しているときは、電源を入れ直すとモードは「カラー」になります。

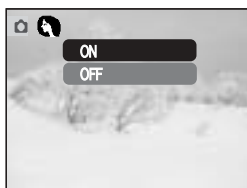
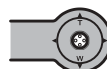
その他の設定を保持したいときは→P.60

ポートレート

カメラ内部の画像処理により、美しいポートレートを撮影することができます。デジタル処理を加えることで肌をなめらかに髪や目などをはっきりと再現します。

設定方法

1. P.38の要領で、クイックパネル→「ポートレート」を選択し、コントローラーを押します。

2. コントローラーでONを選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

上下に倒して設定を選択

押して決定

ポートレートが選択されている時は、液晶モニターの左上にアイコンが表示されます。

● ポートレートを解除するには、上記の要領で「OFF」を選んでください。

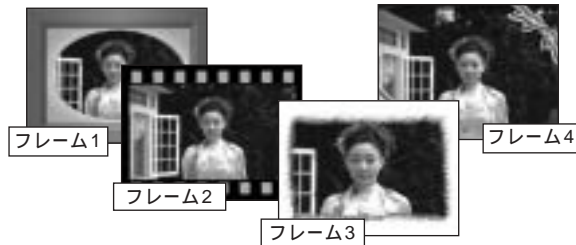
● オートリセットを「あり」に設定している場合は、電源を入れ直すとポートレートの設定はOFFになります。

ONの設定を保持したいときは→P.60

合成撮影

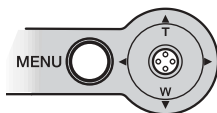
撮影したい画像にフレームを合成させたり、2つの画像が隣り合わせになるように撮影する（カップリングショット）ことができます。

フレーム合成

4つのフレームから1つを選んで、合成撮影することができます。

カップリングショット

2つの画像が隣り合わせになるように撮影することができます。カップリングショットを使って、2人が交代で撮影し1つの画面におさめたり、名刺と人物を同じ画面に写し込んだりすることができます。

設定方法

- クイックパネルや撮影メニューで、フラッシュモードや画像サイズなど、各種設定をする場合は、合成撮影モードに入る前に行ってください。
  クイックパネルでの設定→P.38
  撮影メニューでの設定→P.56
- 合成撮影と連続撮影やマルチフレームショットを組み合わせることはできません。

1. P.38の要領で、クイックパネル→「合成撮影」を選択し、コントローラーを押します。

次ページへ続く

2.コントローラーで希望の設定を選択し、押して決定します。

現在の設定が選択されています。

なし
フレーム 1
フレーム 2
フレーム 3
フレーム 4
カップリングショット

上下に倒して設定を選択

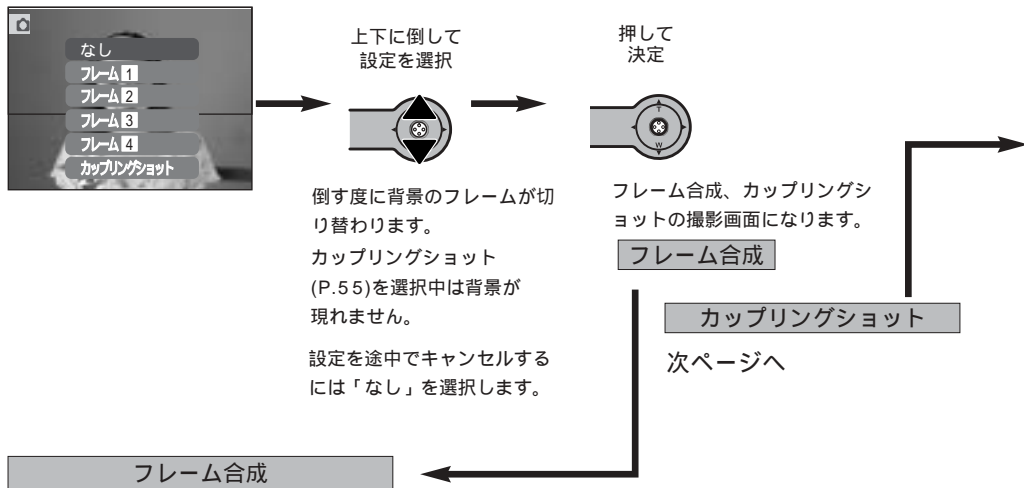
- 倒す度に背景のフレームが切り替わります。
- カップリングショット(P.55)を選択中は背景が現れません。
- 設定を途中でキャンセルするには「なし」を選択します。

押して決定

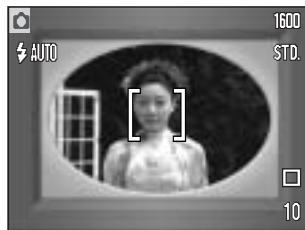
- フレーム合成、カップリングショットの撮影画面になります。

フレーム合成

カップリングショット

次ページへ

フレーム合成

3.ピントをあわせたいものにフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを押して撮影します。

- 撮影後、合成処理が始まります。画質モードによっては処理に時間がかかります。

- フレーム合成モードは撮影後に解除され、通常撮影画面に戻ります。

カップリングショット

3.ピントをあわせたいものにフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを押して撮影します。

●撮影したいものを画面の左半分におさめてください。

4.画面の右半分に撮りたいものを入れ、シャッターボタンを押して撮影します。

●画面の右半分が撮影されます。

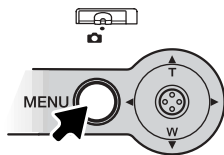
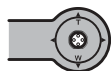
●撮影後、合成処理が行われます。

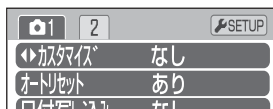
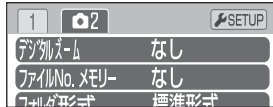
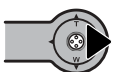
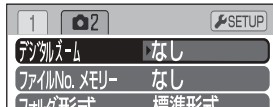
●カップリングショットモードは撮影後に解除され、通常撮影画面に戻ります。

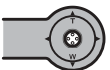
●縦位置での撮影では、上下に隣り合った画像が合成されます。

撮影メニュー

メニューボタンを押して表示されるクイックパネルから、さらに他の設定が変更できる撮影メニューの画面に入ることができます。

設定方法

1.カメラが撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

2.クイックパネルで「MENU」が選ばれている状態で、コントローラーを押します。

● 詳細な設定変更の画面へ移ります。

3.コントローラーを左右に倒して「📷1」「📷2」のいずれかを選びます。

4.コントローラーを上下に倒し、希望の項目を選びます。

5.コントローラーを右に倒して、設定の内容を表示させます。

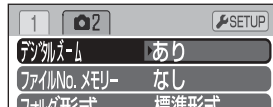
6.コントローラーを上下に倒して、希望の設定を選びます。

7.コントローラーを押して、設定を決定します。

8.メニューボタンを押して、元の画面に戻ります。

● 設定中にメニューボタンを押すと設定が中断され、通常撮影画面に戻ります。

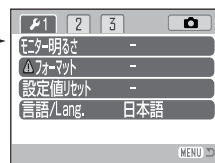
設定内容

◎は初期設定値です。

1

項目	設定
カスタマイズ P.58	フラッシュモード 露出補正 ドライブモード ホワイトバランス ◎なし
オートリセット P.60	◎あり なし
日付写し込み P.61	年月日 月日時刻 ◎なし

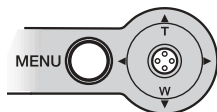
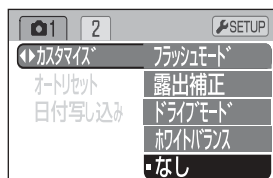
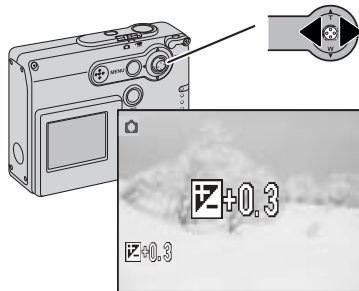
2

項目	設定
デジタルズーム P.62	あり ◎なし
ファイルNo.メモリー P.63	あり ◎なし
フォルダ形式 P.64	◎標準形式 日付形式

SETUPタブを選んでコントローラーを押すと、セットアップメニューの画面になります。P.97

コントローラーカスタマイズ

撮影時によく使う4つの機能の内の1つをコントローラーに割り当てることができます。コントローラーを左右に倒すだけで設定を変更できますので、メニュー画面で設定する手間が省けます。

機能	説明	ページ
フラッシュモード	コントローラーを左右に倒す度にフラッシュモードの設定が切り替わります。	40
露出補正	コントローラーを右に倒す度に「＋」側に補正され、左に倒す度に「－」側に補正されます。（±2.0、1/3ステップ）	50
ドライブモード	コントローラーを左右に倒す度にドライブモードの設定が切り替わります。	43
ホワイトバランス	コントローラーを左右に倒す度にホワイトバランスの設定が切り替わります。	49
なし	初期設定では、コントローラーに機能は割り当てられていません。	－

設定方法

1. P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「1」→「カスタマイズ」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

コントローラーの操作方法

1.左または右へ倒します。

●現在の設定が、液晶モニターの中央に大きく表示されます。

2.左または右へ倒すたびに設定が変更されます。

●希望の設定に変更した後、しばらくすると元の撮影画面に戻ります。ボタン等を操作すると、すぐに元の撮影画面に戻ります。

●オートリセットを「あり」に設定している場合は、コントローラーカスタマイズで設定した項目は、電源を入れ直すと以下の状態にリセットされます。
フラッシュモード：AUTO
ドライブモード：□（1コマ撮影）
露出補正：0
ホワイトバランス：AUTO

●露出補正、ホワイトバランスのコントローラーカスタマイズ設定は動画撮影でも有効です。

オートリセット

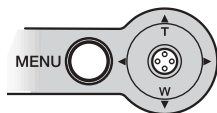
オートリセットを「あり」にすると、メインスイッチを入れ直すたびに下記の設定項目が初期設定に自動的に戻ります。「なし」にすると、メインスイッチを入れ直しても前回に使用した設定が保持されます。

状態の変わる項目	初期設定（この状態に戻ります）
画面表示の切り替え（P.31）	表示あり
フラッシュモード *（P.40）	自動発光または赤目軽減自動発光
ドライブモード（P.43）	1コマ撮影
露出補正 *（P.50）	±0.0
ホワイトバランス（P.49）	AUTO
カラーモード（P.51）	カラー
ポートレート（P.52）	OFF

*フラッシュモードを前回 自動発光または赤目軽減自動発光 に設定し、撮影していた場合は、オートリセット「あり」で電源を入れ直しても、モードはそのまま保持されます。その他のフラッシュモードは、自動発光または赤目軽減自動発光（前回設定していた方）に戻ります。

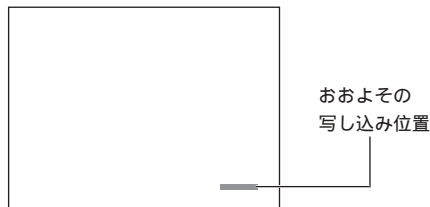
*画面表示の切り替え、露出補正、ホワイトバランス、カラーモードは動画撮影モードでも初期設定に戻ります。

- お買い上げ時は、オートリセット「あり」に設定されています。電源を入れ直したときに前回設定した状態でそのまま撮影したい場合は、オートリセットを「なし」にしてください。

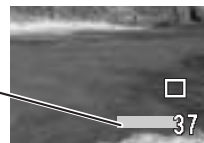
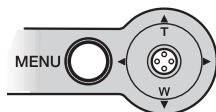
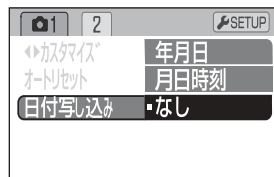
設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷1」→「オートリセット」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

日付写し込み

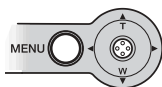
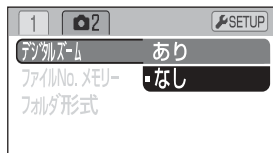
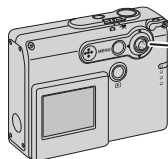
撮影の「年月日」または「月日時刻」を、画像の右下に入れることができます。

● 実際の写し込み位置は右のようになります。

● 日付写し込みを「なし」に設定していても、撮影時の年月日・時刻は記録され、再生時には液晶モニター画面左下に表示されます。

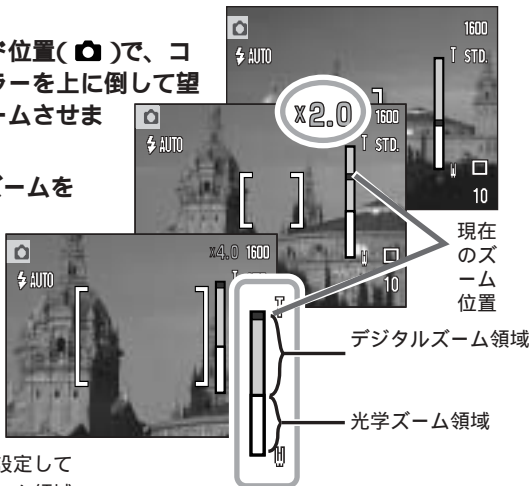
※年月日の並びを変更するときは → P.108

日付写し込みを「年月日」または「月日時刻」に設定したときは、液晶モニター画面右下に黄色のバーが表示されます。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷1」→「日付写し込み」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

デジタルズーム

通常のズーム（光学ズーム）で最望遠側にした後、デジタルズームにより、さらに4倍まで画像を拡大することができます。
● デジタルズームは拡大すればするほど、画質は劣化します。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷1」→「デジタルズーム」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

操作方法

1.撮影モード位置（📷）で、コントローラーを上に倒して望遠側にズームさせます。

2.そのままズームを続けると自動的にデジタルズームになり、画像がさらに4倍まで拡大されます。

● 液晶モニター右上に、現在のデジタルズームでの倍率が表示されます。最大4.0倍まで拡大することができます。
● ズームしているあいだ、画面右側にズーム表示が現れます。デジタルズームを「あり」に設定している時は、光学ズーム領域に加えデジタルズーム領域も表示されます。

● デジタルズームは、拡大すればするほど画質は劣化します。ただしこのカメラでは画像補間が行われますので、画像サイズは変わりません。
● 動画撮影（P.66）の場合も、同様のデジタルズームが可能です。

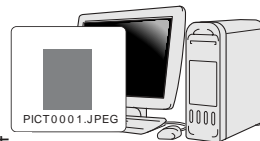
ファイルNo.メモリー

撮影した画像を、パソコンに取り込むと（パソコンへの取り込み方法 P.109～）画像に以下のようなファイル名がつけられています。そのファイル名につけられた数字をファイル番号（No.）といいます。

ファイル名の例：

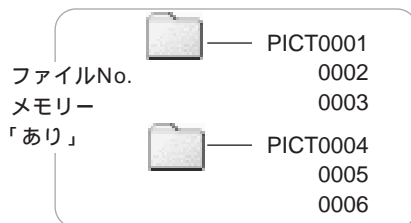
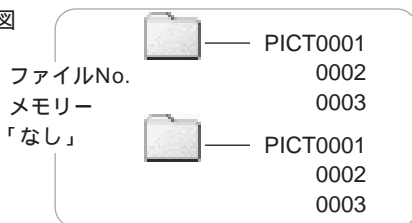
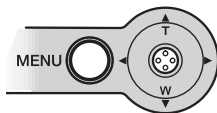
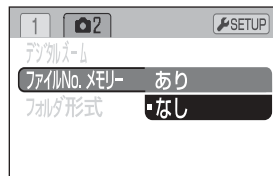
PICT 0001 .JPG

ファイル番号（0001～）　拡張子（ファイルの種類を識別する部分）

● お使いのパソコンの設定によっては、拡張子が表示されない場合があります。

フォルダが変わると、初期設定のファイルNo.メモリー「なし」では、ファイル名は再び"PICT0001"から始まります。これを続き番号にすることができます。

なし：　ファイルNo.メモリーは機能しません。撮影フォルダが変わったり、日付形式フォルダで日付が変わってフォルダが変わったりすると、ファイル番号は0001 に戻ります。同一フォルダ内にすでにファイルが存在する場合は、その続き番号から始まります。

あり：　ファイルNo.メモリーが機能します。フォルダの変更、全画像の消去、カードの交換やフォーマットを行なっても、ファイル番号はそのまま続きます。

イメージ図

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「📷2」→「ファイルNo.メモリー」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

フォルダ形式

撮影した画像をパソコンに取り込むと（パソコンへの取り込み方法 P.109～)、フォルダの中に画像ファイルが保存されています。

フォルダの形式は「標準形式」と「日付形式」の2種類があります。初期設定は「標準形式」になっていますが、フォルダ形式で「日付形式」に切り替えることができます。

DCIM

100KM005（標準形式）

100 KM005

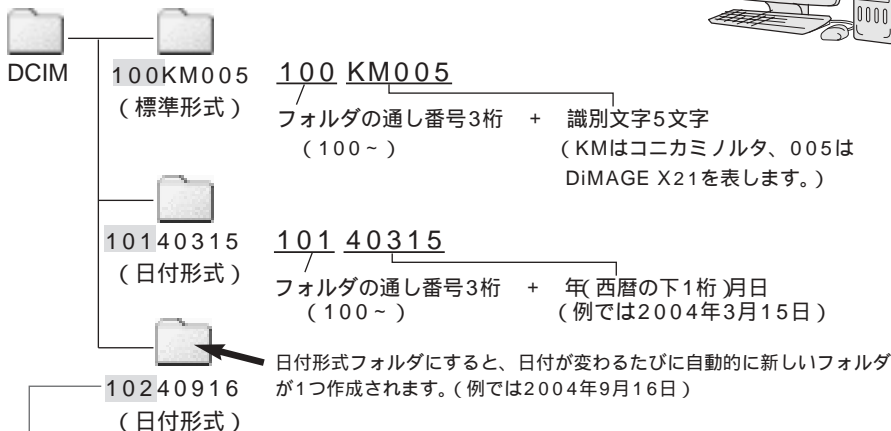
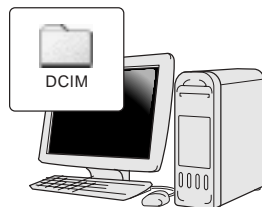
フォルダの通し番号3桁（100～） ＋ 識別文字5文字（KMはコニカミノルタ、005はDiMAGE X21を表します。）

10140315（日付形式）

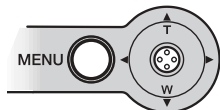
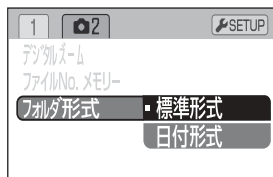
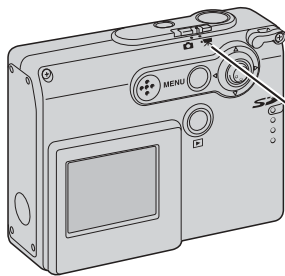
101 40315

フォルダの通し番号3桁（100～） ＋ 年(西暦の下1桁)月日（例では2004年3月15日）

10240916（日付形式）

日付形式フォルダにすると、日付が変わるたびに自動的に新しいフォルダが1つ作成されます。（例では2004年9月16日）

通し番号は“ 100 ”から始まり、フォルダが作成されるたびに 1つずつ増えて行きます。

- 日付形式フォルダは、日付・時刻を正確に合わせた状態でお使いください。
- フォルダの削除は、カメラをパソコンに接続してパソコン側で行なうか (→ P.109～)、カメラ側でカードをフォーマットしてください (→ P.102)。

設定方法

P.56の要領で、クイックパネル→撮影メニュー→「2」→「フォルダ形式」から希望の設定を選択し、コントローラーを押します。

動画撮影モード

カメラの撮影モード切り替えレバーを位置にすると、動画撮影モードになります。この章では、この動画撮影について説明しています。

このカメラは、カードの容量がなくなるまで連続しての動画撮影ができます。長時間連続して動画撮影される場合は、別売りのACアダプター AC-12のご使用をおすすめします。

動画撮影

カードの容量がなくなるまで、連続して動画撮影を行なうことができます。

ON/OFF

1.カメラの電源を入れ、撮影モード切り替えレバーをに合わせます。

●液晶モニターが動画撮影の画面になります。

2.シャッターボタンを押して撮影を開始します。

●カードの容量が残り少なくなるなど撮影可能時間が１０秒以下になると、残り時間が赤色で表示されます。

●ピント位置は、動画撮影開始時に固定されます。

3.撮影を止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

●残り秒数が０になったときは、シャッターボタンを再度押さなくても自動的に撮影が終了します。

●電池の容量表示が（赤色）のときは、動画撮影できません。「電池が少ないので動画撮影できません」のメッセージが表示されます。

●記録（書き込み）速度の遅いカードを使用されている場合、カメラの内部メモリがいっぱいになってしまい、カード容量がなくなる前に動画撮影が終了することがあります。

●録画された動画は、SDメモリーカード内にMotion JPEG（MOV）ファイルとして保存されます。

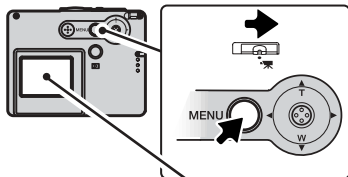
●付属の8MBのカードには、合計約21秒間（画像サイズ320×240）、または、合計約1分26秒間（画像サイズ160×120）の動画を記録することができます。

●音声は入りません。

動画撮影時に設定/変更可能な機能は以下の通りです。

	動画撮影する前	動画撮影中
設定／変更可能なもの	・コントローラーを上下に倒すことによるズーム（光学ズーム、デジタルズーム） ・コントローラーを2秒間押して液晶表示の切り替え（表示あり⟷表示なし） ・動画撮影メニュー	コントローラーを上下に倒すことによるデジタルズーム

動画撮影メニュー

撮影モードレバーが動画撮影位置 にあるときにメニューボタンを押すと、動画撮影メニューのクイックパネルが表示され、カメラの様々な設定を変更することができます。

1.カメラが 動画撮影モードであることを確認して、メニューボタンを押します。

●液晶モニターに5つのアイコンが表示されます。

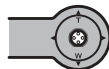
ホワイトバランス　P.49

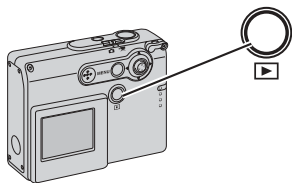
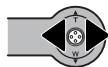
カラーモード　P.51
ソフトフォーカスは設定できません。

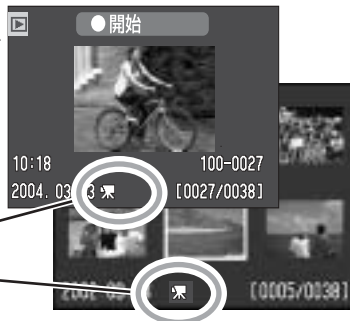
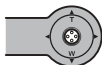
セットアップ
セットアップのメニュー画面へ移ります。**P.97**

画像サイズ
動画撮影で画像サイズを小さくすると、画質は落ちますが連続撮影時間が長くなります。
320×240（初期設定）
160×120

露出補正　P.50

2.コントローラーを上下左右に倒して、設定したい機能のアイコンを選択、押して決定します。

●露出補正、ホワイトバランス、カラーモード（ソフトフォーカスは設定できません）の設定は、撮影モード のメニュー設定と共通です。一方で設定すると、もう一方のモードにも設定が反映されます。
●選択できるアイコン上にカーソルがくると、各々の機能の説明が表示されます。
●コントローラーを押してアイコンを選択すると、それぞれの設定画面が表示されます。

動画の再生

1.再生ボタンを押して、再生モードにします。

2.1コマ再生、または、インデックス再生で、動画を選択します。

●動画開始時の画像が静止画として現れます。

画像に が表示されています。

3.コントローラーを押すと、動画の再生が開始されます。

●右上の数値は経過時間です。

●再生中にコントローラーを押すと、一時停止・再スタートを繰り返します。コントローラーを左右に倒して再生の巻戻し、早送りができます(右に倒すと早送り、左に倒すと巻戻し)。

●一時停止中にコントローラーを左右に倒すと、コマ送りができます。

4.再生を終えるときは、メニューボタンを押します。

●最後まで再生が終了すると、自動的に再生開始前の画面に戻ります。

●動画の拡大再生はできません。